〈3/11 監視チームにおける議論のまとめ〉
2. 安全対策（津波）に係る個別の検討事項について
⑤ 影響評価などを踏まえた津波防護対策の有効性について
○ハード対策 a) HAW 建家地下貫通部からの浸水の可能性について

HAW 建家地下貫通部からの浸水の可能性について

令和 2 年 3 月 19 日
再処理廃止措置技術開発センター

1. はじめに

「耐津波設計に係る工認審査ガイド」において、「津波が流入する可能性について検討した上で、流入の可能性のある経路（ 扉、開口部、貫通部等） を特定し、それらに対して浸水対策を施すこと。」とあり、高放射性廃液貯蔵場（HAW施設）に対して浸水の可能性について検討した。

HAW施設は、主要な開口部には浸水防止扉を設置するとともに、他施設との廃液等の取り合い部やユーティリティ等供給用の貫通部にも止水対策を施していることから基本的に浸水の可能性はないと考えているが、これらの貫通部等については、今後、点検や強度評価を行い健全性について確認していく。

2. トレンチ等の構造

（1）T21 トレンチ（図 2 参照）

(2)連絡管路(図 3 参照)

(3)T15 トレンチ(図 4 参照)

以　上

図1　HAW施設と接続しているトレンチ等

図2　T21トレンチの構造（概要）

図3　連絡管路の構造（概要）

図4　T15トレンチの構造（概要）